

永島氏、令和5年度 産業標準化事業表彰 (経済産業大臣表彰) を受賞

経済産業省では、産業標準化推進活動に優れた功績を有する方を表彰する「産業標準化事業表彰」を、毎年10月の「産業標準化推進月間」に実施している。この度令和5年度の産業標準化事業表彰(経済産業大臣表彰)を、東京海上日動火災保険株式会社 技術顧問(元三菱電機株式会社 鎌倉製作所 技術顧問)永島敬一郎氏が受賞した。ここに、この素晴らしい栄誉を称えとともに、ご功績の一端を紹介する。

永島氏は1974年、三菱電機株式会社に入社、鎌倉製作所に所属。以来、電離層観測衛星(ISS)、技術試験衛星II型(ETS-II)、実験用静止通信衛星(ECS)、通信衛星2号(CS-2)、技術試験衛星V型(ETS-V)、宇宙実験・観

測フリーフライヤー(SFU)、地球観測プラットフォーム技術衛星(ADEOS)のシステム開発など、長きにわたり宇宙機の開発に従事した。所長室付技師長となってからISO/TC20/SC14/WG1(宇宙システム及び運用)のコンビーナ(座長)となり、ISO活動を開始した。ISO活動は東京海上日動火災保険株式会社技術顧問となってからも継続している。

永島氏は宇宙産業においては実際の宇宙機開発だけでなく、宇宙を利用した地上サービスの事業規模が大きいことに着目し、宇宙利用サービス分野の国際標準化の必要性を説くとともに、関連した国際規格の開発を主導した。これによりこの分野の国際規格開発における、我が国の主導的地位の確立に貢献した。